

CC2級実技（第14回）

問1

教師になるつもりで教職課程の科目も履修してきたが、教員免許を取っても採用試験に受かるとは限らない事を知り、教師を目指すのはリスクが高いと思うので、一般企業を第一志望にして就職活動をするか、教師をあきらめてしまっているのか、どうしたらよいか相談したい。 125文字

問2

・就職活動の軸が定まっていない：数学が得意で、教えるのがうまいから数学の教師になればいいんじゃないかと友人に言われて教師を目指していたり、教員免許を取っても採用試験に受かるとは限らないから一般企業を第一志望にして就職活動した方が良さそうだと思っている点から、自分の意思が希薄で、就職活動の軸が定まっていない。

・他人に流されやすい傾向：仲のいい友人が教職課程を取るから自分もそうする、教員の採用試験に合格出来なかった人の話を聞いただけで教師を目指すのはリスクが高いと思う等、自らの意思で行動したり、自分できちんと情報を確認する事が不足している。

・職業理解不足：「数学を生かせるような一般企業」として具体的な仕事や職種が聞かれない事から、どのような仕事があるのか職業理解が不足している可能性がある。

・自己肯定感の低下：教師を目指すのはリスクが高い、学習塾の正社員になったが経営が厳しく結局失業した等の否定的な情報ばかりを気にしており、マイナス思考になっている可能性がある。 434文字

問3

① 自己理解と職業理解を深め、前向きな姿勢で落ち着いて意思決定し、自分が目指す職業を目指して就職活動できるようになること。 60文字

②

・自己肯定感を高める：教員採用試験に対する不安、一般企業も視野に入れた就職活動への迷い等、まずは傾聴に専念し、相談者の思いを受容し共感的に理解することで、少しでも落ち着いていただく。

・自己理解：教師になりたいのかも含め、相談者の強みや適性、希望する仕事内容や働き方について、必要であればV P I 職業興味検査等も活用し、就職活動の軸を作っていく。

・職業理解：就職活動の軸を作っていくためにも、新卒採用を支援する制度やサービス、必要であれば職業ハンドブック等を紹介し、教師以外の職業についても仕事の内容ややりがい等の職業情報を相談者自らが積極的に収集できるよう支援する。

・啓発的経験：教育実習やインターンシップ等を通じて、教師のやりがいや苦労は何か、教師以外の仕事で魅力的なものはないかを、相談自身が体験して考えられるようにサポートする。

・フォロー：方策の実行後も、相談者の状況に応じて、適切なフォローアップを側面から行う。

408文字